



地域福祉のための情報誌

社協だより

幸せな社会

(令和2年度～6年度)

第4期地域福祉実践計画を策定しました

暮らしの安心を支える地域福祉

第4期地域福祉実践計画

令和2年度～6年度 (2020～2024)

支え愛・助け愛のまち えべつⅣ

北のまちから あったかハート



北海道内
社会福祉協議会
イメージキャラクター

ほっとちゃん

社会福祉法人 江別市社会福祉協議会

地域福祉実践計画は、市民と協働で福祉課題に対応するための具体的な行動計画です。

住み慣れた地域で共に支え合い、市民一人ひとりが安心して生活できる地域づくりを進めるため、これまでの3期15年の計画の成果・課題を検証し、培ってきた地域福祉の基盤を継承・発展させ、基本目標である「暮らしの安心を支える地域福祉」を目指すのが第4期地域福祉実践計画です。

(関連6ページに掲載)

目次

- ②③ 社協| 令和2年度事業計画と予算
- ④ 冬休みワークキャンプ
- ⑤ 実践！地域貢献
- ⑥ 地域福祉実践計画（第4期計画策定・令和元年度事業評価）
- ⑦ 寄付報告 / 福祉センターからのお知らせ
- ⑧ ボランティア掲示板



QRコードを読み取って
社協ホームページへ

発行

社会福祉法人 **江別市社会福祉協議会**

江別市錦町14番地87 江別市総合社会福祉センター内

☎ 011-385-1234 Fax 011-385-1236

ホームページ <http://www.ebetsu-shyakyo.jp>

メール Social-Welfare@ebetsu-shyakyo.jp

社協だより「幸せな社会」は、1月・4月・7月・10月に発行しています。

2020

4月

No. 197

令和2年度

事業計画と予算

ボランティア愛ランド北海道、
第2期市民後見人養成講座を開催

事業推進方針

地域における生活や福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、市民が暮らししていくうえでの課題は、複雑・多様化しています。

家庭・家族の介護力の低下、市民同士のつながりや絆の希薄化などに加えて、認知症高齢者やひとり暮らし高齢者世帯の増加などにより社会的孤立や生活困窮、権利擁護や災害時の支援体制の整備といった様々な課題が浮き彫りになり、より一層、地域福祉の在り方が問われる時代となってきました。

このため社協では、第3期に引き続き、この度策定した第4期地域福祉実践計画（令和2年度～6年度）に基づき、広く市民、関係機関・団体皆様の協力のもとに一層、「地域福祉の推進役」として役割を発揮してまいります。

今年度はこの計画の初年度であり、より一層地域の課題に向き合い、受け止め、対応し、職員一体となつて「支え愛・助け愛のまち えべつ」を目指してまいります。

第4期地域福祉実践計画の基本計画ごとに主な令和2年度実施事業の概要を紹介します。

基本計画1
地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援

- ▽ 広報活動による福祉情報の提供
- ▽ 社協だよりの発行、ホームページの運営
- ▽ 生活課題に対応した総合的な相談支援
- ▽ くらしサポートセンターへの運営による生活困窮者への相談支援
- ▽ 日常生活自立支援事業による福祉サービス利用援助や金銭管理をサポート
- ▽ 江別市成年後見支援センターの運営と法人後見事業の実施による成年後見制度の普及啓発と制度利用の促進、市民後見人養成講座の開催
- ▽ 貸付金活用による相談支援

- ▽ 生活支援体制整備事業実施による「通いの場」づくりの相談支援と情報提供
- ▽ ボランティアによる日常生活上の悩みごとの相談支援

ひつりて 悩んでいませんか？

相談無料
ボランティア電話相談

相談時間 10時～15時

なやみゼロ
389-7830

火・金曜日
悩みごとテレホン相談

水曜日
家庭生活の諸問題に関する相談

木曜日
認知症の悩みごと相談

▼ 認知症の悩みごとに関する相談

基本計画2
ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

市民がボランティア活動に積極的に取り組めるように支援し、地域福祉の担い手として活動する環境づくりを推進

- ▽ ボランティアセンターの運営（ボランティアの登録・派遣・団体活動費助成・活動交通費補助 ボランティア保険の加入など）
- ▽ 江別市ボランティア団体連絡会の運営
- ▽ ボランティア愛ランド北海道の江別市開催協力
- ▽ 研修事業などを通して、ボランティア活動を担う市民の育成・確保
- ▽ ボランティア活動者研修の開催
- ▽ 傾聴ボランティアの育成（養成研修・スキルアップ研修の実施）

ボランティア活動保険

ボランティア活動中の事故を補償する令和2年度ボランティア保険の受付を開始しています。

活動中のボランティア自身のケガ及び他人の物を壊したりケガをさせたことによる損害賠償責任を補償します。

活動保険料（1名あたり）	
基本プラン	350円
天災・地震補償プラン	500円

補償内容・補償金額はホームページ（『ふくしの保険』で検索）や社協備え付けのパンフレットでご確認ください。加入手続きは、社協へ。

令和2年度社協イベント情報

- 江別ふれあい福祉の広場：7月19日（日）10時～ / 福祉センター及び周辺
- 福祉団体・ボランティア団体写真展：7月19日（日）～26日（日） / 福祉センターロビー

基本計画3
市民参加を進める
地域での生活支援や
交流活動の促進

高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らすことを目的とした自治会の助け合い活動を支援

▽愛のふれあい交流事業
(活動費助成・ボランティア保険料助成など)

共同募金委員会との協働

▽江別市共同募金委員会事務局として共同募金運動(赤い羽根募金・歳末たすけあい募金)を展開、生活困窮世帯に年末見舞金を贈呈

市民と福祉団体が交流できるイベントを開催

▽江別ふれあい福祉の広場の開催

企業・団体の地域貢献活動への支援

▽社会貢献活動や地域行事へ活動備品(テント・パネル・机・椅子など)を貸出

基本計画4
体験学習、研修による
福祉意識の醸成

市民が福祉に関心と理解を深めることを目的とした体

▽地域福祉活動者研修会の開催

▽いきいきシニアスクールの開催

青少年に高齢者や障がい者と交流できる機会や活動体験のできる場を提供

▽ワーキングキャンプの開催

▽ハーフデイボランティアスクールの開催

▽総合的な学習の時間へ福祉体験用具(車いす・アイマスク・高齢者疑似体験セットなど)の貸出や協力先紹介、職員派遣の実施

基本計画5
自立した生活を支援
する福祉サービスの
提供

高齢者や障がい者が、冬期間安心して暮らせるように除雪サービスの実施と民間の雪

処理情報を提供

▽福祉除雪サービスの実施

▽除雪派遣サービスの実施

▽えべつ雪の処理情報誌の発行

食事の支度が困難なひとり暮らし高齢者などへの配食

▽給食サービスの実施

障がいにより移動が困難な

方の社会生活上必要な外出介助のためガイドヘルパーを派遣

▽移動支援事業所リフレスへの運営

福祉機器の貸与

▽福祉機器貸与事業の実施

農村地域などの保育が必要

な児童の子育てを支援

▽北光保育園・野幌季節保育所の運営

基本計画6
地域に信頼される
社協運営のための
組織づくり

組織のガバナンス強化や透明性の向上に努め、地域福祉の推進役としての役割を發揮

して、市民から信頼されるよう運営

▽第4期江別市地域福祉計画(市計画)との連携・調整により事業を推進

▽自主財源の確保や経費の効率化などによる財源基盤の整備

▽役員・評議員研修の実施

▽合同部会で地域福祉実践計画が適正に推進されているかを評価

▽社協災害対策計画に基づき防災・災害対策を推進

令和2年度資金収支予算書 (単位:千円)

サービス区分	令和2年度	令和元年度	比較増減
法人運営事業	91,560	91,241	319
社会福祉基金運営事業	8,566	12,762	△ 4,196
調査・研究事業	492	1,379	△ 887
広報事業	6,390	6,236	154
顕彰事業	143	138	5
江別ふれあい福祉の広場事業	1,162	1,279	△ 117
ボランティアセンター事業	7,683	7,595	88
住民福祉推進事業	367	371	△ 4
愛のふれあい交流事業	8,028	8,122	△ 94
給食サービス事業	47,450	55,066	△ 7,616
福祉除雪サービス事業	35,547	28,125	7,422
除雪派遣サービス事業	4,358	3,963	395
福祉機器貸与事業	492	492	0
生活困窮者自立支援事業	712	549	163
生活支援体制整備事業	4,810	2,592	2,218
移動支援事業	6,538	5,719	819
成年後見支援事業	11,426	10,467	959
福祉サービス利用援助事業	765	765	0
共同募金配分金事業	5,901	6,014	△ 113
生活福祉資金貸付事業	3,503	3,339	164
福祉金庫貸付事業	7,029	6,789	240
総合社会福祉センター運営事業	26,689	27,247	△ 558
北光保育園運営事業	24,780	22,922	1,858
野幌季節保育所運営事業	7,532	6,441	1,091
内部取引相殺額	△ 11,869	△ 13,300	1,431
合計	300,054	296,313	3,741



令和2年度予算の使いみちを紹介します。

前年度比較で増減の大きな事業を pick up

- 【社会福祉基金運営事業】 事業への充当額の減
- 【給食サービス事業】 調理食数の減
- 【福祉除雪サービス事業】 業務委託費・利用世帯数の増
- 【生活支援体制整備事業】 生活支援コーディネーター配置経費の増
- 【北光保育園運営事業】 保育士人件費の増
- 【野幌季節保育所運営事業】 保育士人件費・遊具修繕費の増

【愛のふれあい交流事業】 社協では自治会が行う福祉の助け合い活動を応援します。【愛のふれあい活動】ひとり暮らし高齢者などへの安否確認活動に年額1万円を助成、保険料助成。【地域交流の集い活動】高齢者などのために実施する交流事業へ1事業につき1万5千円(年5回まで)を助成、交通費助成、保険料助成。詳細は、社協☎385-1234

高校生の福祉体験

社協では青少年が施設で暮らしている方との関わりを通じ、他者への思いやりの気持ちを育むことを目的としたワークショップを開催しました。
江別高校・とわの森三愛高校の生徒5名が高齢者福祉施設「静苑ホーム」で実習を行い、福祉の現場で様々な体験をしました。



介護食事体験

ゼリー食やソフト食、ペー
スト食など様々な形態の
食事を食べ「安全」かつ「美
味しく」食べることの大切
さを学びました。

参加生徒の感想文

永井 さくら

(江別高校1年)

今回、初めて参加して介護という仕事の楽しさや、難

しさ、心がけなければいけないことなど学ぶことができてとても楽しかったです。一番最初行なった、高齢者疑似体験では手足がマヒになった方の体験ができ、その方の思いや、生活する上での大変なことがわかってとても勉強になりました。手足がうまく使えないと階段を上るのも一段、一段と一歩ずつゆっくりと歩かなきゃいけないので、階段だけで少し汗をかいてしまうほど大変でした。また、白内障の方の体験ができるゴーグルをかけると今まで見えていたものが見えづらくなり、小銭を落としたりときに床と色が同化して小銭がどこにいつてしまったのかわからなくて大変でした。このような時にやはり人の助けは大事だなと思いました。
現在、介護士が少ないなかで、自動販売機のような

車いすの方でも上のボタンが押せるように工夫されていると一人でも買うことができるのでユニバーサルデザインの物が増えるとうれしいなと思いました。次に体験した食事については、一人ひとりに合わせた具材の大きさやカロリーについて工夫されていてすごいなと思いました。実際に食べてみてソフト食は、私たちとあまり変わらず、ゼリー食では歯がない方でも食べられるようになっていて味も変わらなくておいしかったです。ペー
スト食では、もう食べてすぐ飲みこめる状態になっていて、それも味もかわらなくてすごいなと思いました。高齢



高齢者疑似体験

普段は何気なく利用している自動販売機。感覚の鈍さを体験する手袋をつけながらの体験で体の不自由さを感じました。

になってくると食事もとても大変になってくるので管理栄養士はすごいなと思いました。ほかにも色々学べてとても勉強になりました。
今回はこのような体験をさせてくださりありがとうございました。

佐藤 静流

(江別高校1年)

これまで、自分の中で介護などの福祉に関する分野は難しかったり、大変だという認識があつて、中学校や高校の学校生活の中で職業体験など様々な職種にふれ合える機会には、今、振り返ってみると福祉は避けてきたなという印象がありました。

このワークショップは、自分の福祉に関しての認識を変える貴重な機会だったと思います。もちろん、介護は、簡単で楽だったという風に変わったわけではありません。今日1日のわずかな時間で見ても難しく、大変だという認識は全く変わりませんでした。しかし、たとえ体が不自由でも介護士の方々の手を借りても、ご飯が食べられたり、生活できていることが利用者の方々にとっては、

喜びでうれしいことなんだと思います。また、この職種に限らず、世の中にある仕事は、利用者の方々やお客様、相手の喜びを自分の満足とするのが、相手も自分もいい気持ちになれる理想の形だと思いました。

ワークショップの企画の一つで高齢者疑似体験、車いすの乗車体験をさせていただきました。左半身麻痺の状態ですりたり、階段を上り下りしたり、自動販売機で飲み物を買いました。そして改善できる点を考えたりしました。また、デイサービスの方々と一緒に魚釣りゲームをしました。とても有意義な時間を過ごすことができました。

これから生きていく上で、自分の親や、祖父母が高齢になり今まで自分でできていたことが出来なくなる日が来ると思います。ペットボトルのふたが開けられなくなったり、重たいものが持てなくなったりなどです。「を」をしてほしい」と頼まれたりした時に、またかまたかと思わずに、これまで自分を育てあげてくれたことに対して、次は自分が何かをしようという気持ちで助け合い、支え合っていきたいと強く感じました。

実践!
地域貢献

江別車いすボランティア整備

社協の市民貸出用車いすを点検整備、定期的なメンテナンスで安全安心を



1月22日、車いすの点検・整備を行うボランティア団体「江別車いすボランティア整備」が、社協の市民への貸出用車いすの安全点検・整備を行いました。

当団体は、車いす及び福祉用具の整備をもって奉仕することを目的に、昨年12月に4名の仲間と団体を立ち上げました。活動は標準型手動式車いすの点検・清掃・修理を行い、いらなくなった車いすも無償で引き取っています。引き取った車いすは整備後に社協で再利用するとともに、廃車にする場合は無償部品取り替え用として蓄積します。

また、車いすは良い状態で使用することで利用者の身体負担を軽減し、快適で安全安心な生活につながることから定期的なメンテナンスの重要性も啓発しています。

会の代表の松澤文夫さん(写真)は、これまで各種ボランティア活動を行っており、社協に出入りすることが多く、この時に故障の貼り紙をした多くの車いすを目にしたことで、自分で整備することを思い立ったそうです。

その後、整備スキルを学ぶため「飛んでけ車いすの会」に参加して現在まで33台の整備を手掛け、福祉用具専門相談員の資格も取得しました。今後は「社協以外の福祉施設や個人所有車、歩行器などの介護器具の整備にも活動の範囲を広げていきたい」と意欲的に語っています。

北海道信用金庫ひまわり財団

「ボランティア推進に」10万円助成

昨年12月、北海道信用金庫江別支店(林 俊樹支店長:写真右)から、北海道信用金庫ひまわり財団の令和元年度助成事業の一環として、「社協のボランティア事業へ」10万円の助成金をいただきました。当財団からは18年続けて助成いただいています。



北海道コカ・コーラ(株)

清涼飲料水のクリスマスプレゼント

昨年12月、北海道コカ・コーラボトリング株式会社(景浦英範課長:写真右)から、福祉施設へのクリスマスプレゼントとして、清涼飲料水750本の寄贈を受けました。今回で52回目となった贈り物は、社協を通じて市内10施設へ届けられ、「施設のクリスマス会で利用します」と皆様に喜ばれました。



(令和2年度～6年度)

第4期地域福祉実践計画を策定

地域福祉実践計画は社協の各部会（総務・地域福祉）委員で構成する地域福祉実践計画策定部会が策定に取り組み、3月3日（火）に荻野部会長（写真中央）、深瀬副部会長（写真右）から佐藤社協会長（写真左）へ計画書が手渡されました。



基本目標

暮らしの安心を支える地域福祉

地域福祉実践計画とは

社協が様々な福祉課題に対応するため、地域福祉を担う市民・ボランティア・福祉団体・関係機関などと協働して具体的に実践していくための運営・事業方針を定めるのが地域福祉実践計画（以下、「実践計画」）です。第4期実践計画は、地域福祉実践計画策定部会（荻野富雄部会長）で、自治会・福祉団体へのアンケート調査の結果、第3期実践計画の実績や課題などを踏まえ、計画原案の作成を進め、社協理事会・評議員会の審議を経て、本年4月からスタートしました。

市計画と連携して地域福祉を推進

計画期間は、江別市が策定した第4期江別市地域福祉計画と同じく令和2年度～6年度の5か年間で、両計画の目指す内容の整合を図り、市と社協が相互に連携・調整を図りながら効果的に地域福祉を推進します。本計画では、基本目標とされている『暮らしの安心を支える地域福祉』の実現に向け、計画を効率的・効果的に推進するために6つの基本計画を設定し、具体的に49の実践事業の取り組みを掲載しています。

6基本計画を設定

- ① 地域福祉に関する情報提供や包括的な相談体制による支援
- ② ボランティア活動で進める福祉の環境づくり
- ③ 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進
- ④ 体験学習、研修による福祉意識の醸成
- ⑤ 自立した生活を支援する福祉サービスの提供
- ⑥ 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

「非常に順調な進捗状況」と評価

基本計画の主な内容	評価点
基本計画1 地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備（生活困窮者自立支援事業など13事業）	4
基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり（ボランティア活動の基盤整備など5事業）	4
基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進（愛のふれあい活動など4事業）	3
基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成（ワークキャンプの開催など5事業）	3
基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供（給食サービスなど7事業）	4
基本計画6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり（社会福祉基金の積立・運用など13事業）	4

【評価基準】5～4点：予定を上回り推進している
3点：予定どおり推進している
2～1点：順調に推進されなかった

社協合同部会では、第3期地域福祉実践計画の6基本計画・47事業の令和元年度取組状況の1回目の評価を1月末日現在の実績に基づき行いました。

評価結果 今回の評価では、4基本計画で4点の評価、個別事業は全て3点以上で、その内24事業が4点の評価を受け、全体的に非常に順調な進捗状況と評価されました。

高評価 特に、日常生活自立支援事業、法人後見事業、福祉金庫貸付事業及び障がい児者移動支援事業については、実績増に対して円滑な対応

心、連絡調整を行い、利用者の生活ニーズに適切に支援することに努めたこと、生活支援体制整備事業では、「通いの場」情報誌の作成・配付や生活支援コーディネーターの地域サロンへの積極的な現地訪問と対話により、広く支え合い活動の普及に努めたことなどが高く評価されました。

課題 反面、愛のふれあい交流事業の実施自治会増加に向けた働きかけの強化、各種研修会・体験学習での参加者増加に向けた施設・学校などとの開催時期・内容の検討などが課題として指摘されました。

合同部会

第3期地域福祉実践計画
令和元年度事業の取り組みを評価

貸付資金 社協では、各種貸付事業を行っています。貸付条件など詳細はお問合せください。【特別生活資金】燃料費など冬の生活費、限度額5万円、連帯保証人必要 【教育支援資金】高校入学などの入学金や授業料、民生委員による調査有、他制度利用を優先 【福祉金庫】一時的な生活困窮時の生活費、限度額4万円、連帯保証人必要

善意の寄付
ありがとうございました

令和元年12月1日〜令和2年2月29日(敬称略・順不同)

社会福祉基金

▼趣旨に賛同して
江別管工事業協同組合 50,000円、匿名 10,000円、匿名 30,000円

▼チャリティイベントの益金・売上など
江別フオークダンスサークル 39,545円

一般寄付金

▼趣旨に賛同して
ダンスサークルまりも 10,000円、菅原眞知子 5,000円

▼チャリティイベントの益金・売上など
江別美術協会 27,800円

▼レジ袋廃止に伴う募金
野菜の駅ふれあいファームのつ 30,000円

▼事業活動資金として
北海道信用金庫ひまわり財団 100,000円

災害義援金

▼令和元年台風第19号災害(共募事務局受付分)
東光百寿会 10,000円、野幌松並町自治会 10,000円、谷口敏美 10,000円

福祉センターからのお知らせ

開館日時

① 月曜日 9時〜17時
② 火曜日 9時〜21時
※月曜日が祝日の日は、休館します。火曜日曜日は、祝日も開館しています。

〔4〜6月休館日〕
5月4日(月)

社協会長 おじゃましました

12月 江別市おもちゃ図書館クリスマスお楽しみ会、江別聴力障害者協会・えべつ手話の会、大麻手話の会クリスマス交流会、江別市国民健康保険運営協議会、江別市高齢者クラブ連合会友愛活動員忘年会

11月 令和2年江別市消防出初式、大麻・文京台地区新春交礼会、江別市高齢者クラブ連合会新年交礼会、江別市芸能赤十字奉仕団新年親睦会、江別地区保護司会新年交礼会、江別市民生委員児童委員連絡協議会新年交流会、江別市国民健康保険運営協議会、江別市民健康保険連合協議会、江別更生保護女性会新年懇親会、北海道社会福祉協議会地域部会総会

2月 江別地区保護司候補者検討協議会、江別市社会福祉審議会、江別耳の日記念集会

損害保険・生命保険代理業

地域に密着した保険専門店
Employee Satisfaction
保険サービス・ジャパンエージェンシー

保険の無料相談実施中

【営業時間】平日9:00〜18:00
定休日 土曜日・日曜日・祝日

商号:有限会社イー・エス・オフィス
〒069-0824 江別市東野幌本町19番地の1 0120-74-0433

お墓新規建立・リフォーム・移転

見づらい文字のペンキ塗り替え・花立ての交換・目地修理・追加文字彫刻・お墓のお掃除 ☆お墓のことならどんなことでもお気軽にご相談下さい。

☆「安心石材店の会」加盟店・15年の安心施工保証
江別市営墓地工事実績1700基・墓石ローン取扱

TEL (011) 383-1232
(有) 上光石材工業
本社・展示場 江別市牧場町1-21 工場 江別市工業町21-33

医 英生会 野幌病院 JR野幌駅前 TEL382-3483

野幌病院 地域医療相談室 TEL 381-2643
介護老人保健施設 老健のつぼろ TEL 381-1133
老健のつぼろ 通所リハビリテーション TEL 381-1177
在宅介護相談えべつ 英生会ケアプランセンター TEL 381-8858
訪問看護ステーション のつぼろ 訪問看護科 TEL 381-7877
訪問リハビリテーション科 TEL 381-1193

英生会グループホーム ゆめみの TEL 391-3119
小規模多機能ホーム ゆめみの TEL 391-3229
江別第二地域包括支援センター(江別市委託事業) TEL 389-5420

江別の皆様とともに 地域の発展に貢献します

EPA 江別印刷業協同組合

〒069-0801 江別市中央町29番地の33 (有)アスカ印刷 内
TEL・FAX (011) 389-6730

組合員	(有)アスカ印刷	(有)ア・ノ研究社	笹岡印刷(株)
	(有)徳田印刷	(有)トラスティプリント	(株)のつぼろ印刷
	藤塗装工業(株)	(有)山田印章印刷	(有)くらしの新聞社 賛助会員

紙・事務用品・オフィス家具
OA 機器・学校教材

(有) カオ

江別市高砂町 10 番地(市役所横)
電話代382-2553・FAX385-7878

社会福祉法人 英寿会

「英生塾」 「安心・安全・地域と共に」をスローガンに “頑張る人”を応援致します

受講生募集!!

- 介護職員初任者研修(昼間・夜間通学コース)
- 介護福祉士実務者研修(9・11・2月度コース通信課程)

英生塾事務局
〒069-0832 江別市西野幌92番地16
電話 (011) 375-7757
FAX (011) 375-7767
(お気軽にお問い合わせ下さい)

英寿会 事業所

特別養護老人ホーム えぞりの杜	☎887-6333
地域密着型介護老人福祉施設かっこうの杜	☎391-9111
ショートステイくまげら	☎391-9111
ケアプランセンター かっこうの郷	☎380-1244
小規模保育施設 ふくろうの森	☎398-5568
小規模保育施設 ぞうさんハウス	☎384-2280

7 税の優遇 個人や法人の社協への会費・寄付金及び共同募金寄付金は、法令などで定める要件に該当した場合、法人税・所得税・個人住民税の優遇(軽減)措置があります。

社協会費 社協会費納入者は、年度分をまとめて7月号で掲載します。

ボランティア掲示板

生活支援体制整備事業

江別市内の「通いの場」情報！ 地域の活動を紹介します

元町はつらつサークル

元町はつらつサークルは、江別市保健センターの健康体操教室として開催していた「はつらつ教室」が前身となり、平成27年に自主サークルとして活動を開始しました。

現在71名(男性2名、女性69名)の会員登録があり、イスを使ってのストレッチや筋トレをメインに、毎回50名前後の方々が参加されています。

長年通っている方も多く、はつらつ教室のころから通っている方もいるとのこと。「体操の負荷がちょうどいい」「無理なく自分のペースでできる」というのが大きな理由のようです。また、「参加しやすい雰囲気がある」「しぼりがなく楽しく過ごせる」といった声も聞かれました。入会して9年目の平田暢夫さん(81)は「男性の登録、参加が増えるといいのだが…」と胸の内を話してくれました。



開催日 / 毎週木曜日 10時00分～11時30分
場所 / 元町地区センター(元町1-2)
会費 / 月500円
お問合せ / 代表 荒磯さん (☎ 384-1517)

江別市ボランティア団体連絡会

ボランティア会員団体を紹介します

江別マンドリンアンサンブル「コンパニーヨ」



ボランティア団体に新たに仲間入りした江別マンドリンアンサンブル「コンパニーヨ」をご紹介します。

団体名のコンパニーヨはイタリア語で“仲間”を意味しており、中学校2年生から70歳代までの20名弱の団員で構成しています。

当団体は昨年の4月に設立し、町内会・高齢者施設などを訪問して、団体名のとおり仲間とともに楽しみながらマンドリン合奏をしています。演奏は、聴衆にも楽しんでもらえるよう一緒に歌ってもらえる曲を必ずプログラムに入れていきます。特定の曲目の要望にもある程度対応することは可能です。

なお、平日の演奏は、年配者3名ほどでご依頼に対応しています。

ご依頼は社協まで (☎385-1234)

広報編集委員会委員

工藤 多希子

令和2年度にスタートした第4期地域福祉実践計画では、成果と課題を検証し、アンケート調査の結果を踏まえて、江別市地域福祉計画との連携を図る中で、「暮らしの安心を支える地域福祉」の実践に向けた具体的な取り組みが進められます。

2月28日、鈴木知事の緊急事態宣言を受け、週末の外出を控え、感染拡大を抑える取り組みが全道に発信されました。皆様におかれましては、感染拡大防止の対応にご苦労されていることと思います。

江別市においても学校の休校、公共施設の閉鎖、イベントの中止などにより、経済や感染拡大の不安が募りますが、一日も早い収束を願うばかりです。

人生百年時代、生活スタイルが多様化する中、時代に添った多くのふれあい助け合いの活動を通して元氣の出る「幸せな社会」の発行を続けてまいります。



編集後記



赤い羽根共同募金は、社協だよりも役立てられています